

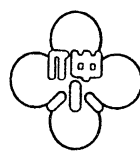
平成23年度

NO.13

2月29日発行

3月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

安全で安心して過ごせる学校に

校長 澤井 英子

【インフルエンザを考える】

1月末から学級閉鎖を続け、一時は全学級の半数まで閉鎖状態になるほどの毎日でしたが、やっと、峠を越えたように感じます。この一月、毎日子供の健康状態に一喜一憂していました。今振り返って、学校に何ができたのだろうと思います。

一人一人の子供の症状が重篤にならないように、また、流行性の疾患が他の児童に蔓延しないように、学校は最善の努力をしたつもりです。濡らしたタオルを教室にかけるなど湿度を保ち、室温調整から換気、うがいや手洗いの呼びかけを毎日繰り返してきました。また、他の学級の児童と交流する活動は極力避け、全校朝会は放送で、集会や音楽鑑賞教室は、無理にお願いして延期しました。

さらに、流行しそうな学級には、事前の呼びかけから、閉鎖当日の注意、休日の過ごし方までお知らせしました。きっと保護者の皆さんにとっては、しつこく感じる程だったと思います。にもかかわらず、蔓延を食い止めることができず、結果的に全児童が発病した学級まであります。

保菌者とはいえ、熱の下がったお子さんを家庭で過ごさせることは、ご家庭にとって負担が大きかったこととは存じます。ですが、この機会にこそ、ご家庭でお子さんと共に、病気から身を守ることや元気に過ごせることの幸せを考えていただけたらと思います。多くの保護者が、十分お子さんの健康状態を考え、守ってくださった中で、学級閉鎖中にもかかわらず、ディズニーランドに行ったとか、旅行に出かけたといった話が聞こえる度に、本当にお子さんのことを考えた行動なのか、理解に苦しみます。インフルエンザは新薬により、症状を早く緩和できるようになり

ましたが、今でも重い後遺症を残したり、命にかかわったりする大変怖い病気です。これがもっと強毒性の型だったらと思うと、ぞっとします。

今後に向け、保護者の皆様と共に考えていきたいと存じます。

【24年度に向けて】

新たな取り組み（2月号に引き続き）

〈その2〉使いやすい校庭に 鉄棒の移設

鉄棒の移設が決まりました。体育館前にある鉄棒は、すぐ前にサッカーゴールがあり、安全上心配で、取り組めない技もあり、学習に支障がありました。学習しやすい場所はどこがよいのか、サッカーゴールの位置を変える案まで、様々検討してきましたが、南門付近に移設することになりました。春休み中には工事に入り、4月からは安全に安心して使えるようになります。

〈その3〉現3年生・5年生の学級編成替え

先日は、「仲町小の教育について」アンケートにご協力いただき有り難うございました。（詳しくは別紙で）

その結果を見ると、保護者の皆さんや児童の評価と、教師の評価に大きく違う項目があることがわかりました。一人一人の児童は、自分なりにがんばっていると思っているのですが、集団としての学習態度や生活態度、特にあいさつの習慣は、課題があることが伺えます。

そこで、来年度は心を新たに、全学級新しいメンバーで、新しい担任と学級づくりに励み、学校全体で取り組むことが必要であると考えます。どの子も安全で安心して学校生活を送り、自分のよさを発揮できる学級づくりをするために、ご理解とご協力をお願いします。